

広報活動

令和元年度は、昨年度に引き続き、病院要覧をはじめ、ホームページをリニューアルし、全体をより見やすく・デザインするとともに、スマホへの対応を図った。また、阪大病院ニュースによって、積極的に院内外に向け情報発信を行った。その他、特筆すべき事項について、以下のとおり示す。

1. 市民公開フォーラム

本院では、平成19年2月から、がん診療について近隣市民等に対して分かり易く解説することを目的として、市民公開フォーラムを開催している。

令和元年度開催分

テーマ・主な内容	
開催日：令和元年2月8日（土） 〔あなたの治療と”思い”を支える緩和ケア〕	
(1) 開会の挨拶	緩和医療センター副センター長 松田 陽一
(2) がんの治療と同時に行う緩和ケア	緩和医療センター特任助教 博多 紗綾
(3) 心不全患者さんをサポートする緩和ケア	心臓血管外科/緩和医療センター特任助教 坂本 陽子
(4) 緩和ケアを味方にしよう	緩和医療センターがん看護専門看護師 許田 志津子
(5) 在宅緩和ケアの実際	～「家に居たい！を支えます」～ おきしろ在宅クリニック医師 沖代 奈央

2. 広報誌の発行(阪大病院ニュース)

大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうとともに、診療を通じて推進する研究や教育の意義、病院運営に対する財政的な役割、さらには先進医療の推進による社会的な貢献などについて広報するため、阪大病院ニュースを年4回発行している。

令和元年度発行分

号	年月日	主な記事
74	31. 4. 25	・AI 基盤拠点病院構想 ・一般撮影室・CT装置をリニューアル

		*患者さん満足度調査結果発表 *免疫学の進歩を臨床現場へ届ける 免疫内科 *ハイリスク妊娠にチーム医療で対応 麻酔科医による無痛分娩も 総合周産期母子医療センター
75	1. 7. 25	・緩和医療センター開設 ・脳神経外科に最新式顕微鏡を導入 *最適・最新・最良の医療で皮膚の難病を治療する 皮膚科 *個人のキャリア開発と院内外の看護職員に教育の機会を提供 看護部キャリア開発センター
76	1. 10. 25	・ハイブリッド手術室増設 ・第1回 NICU 同窓会に100名 *傷を修復するエキスパート 形成外科 *技術者と機器 一元管理 医療技術部
77	2. 1. 25	・体に負担少ない ロボット支援手術 ・同伴のきょうだいも安全安心 小児医療センターに待合室 *体の負担減らして根治 呼吸器外科 *子どもに最良のケアを 小児医療センター

3. 病院見学会

一般の人にも本院について理解を深めてもらい、意見を聞き、よりよい開かれた病院にしようと、平成17年度より病院見学会を実施している。

令和元年度は9月19日（木）に実施。臨床検査部の検査の様子や、ドクターヘリの見学など、普段見ることのできない場所を見学し、医療の現場を実感してもらった。



ドクターヘリ前での集合写真